

学校給食費、来月値上げ

北秋田市は 4 月から、食材費高騰に伴い市立小中学校の給食費を値上げする。市教育委員会によると、小学生は年間 1 人当たり 8 千円、中学生は同 8 5 5 0 円程度の増額になる見通し。

値上げ後の 1 人当たりの年間負担額は、小学生約 6 万 5 千円、中学生約 7 万円、市教委は 2020 年度に食材費高騰分として約 9 0 0 万円、2 3 年度には給食費値上げ分として約 1 2 5 0 万円を予算措置し、個人負担額を据え置いてきた。

しかし、食材費高騰が続いたため個人負担額を増やさざるを得ないと判断。昨年 4、1 2 月に保護者へ通知。市学校給食運営委員会にも報告した。

市は、昨年 1 2 月定例会で可決された 2 3 年度一般会計補正予算で、1 8 歳以下の子どもがいる世帯について 1 人当たり高校生 5 万円、小中学生 3 万円、未就学児 2 万円を補助する「食べ盛り！子育て世帯生活応援事業」に 9 0 7 0 万円を計上。市教委は「市独自の子育て支援策がさまざまあるので、活用してもらいたい」としている。

県内の学校給食を巡っては、秋田市と大仙市が値上げ分を市で負担する予算案を 3 月定例会に提出。男鹿市など 7 市町村は無償化しており、湯沢市と三種町は 2 4 年度から導入する予定。青森県は 1 0 月から全小中学校で一律で無償化する方針を示している。

(令和 6 年 3 月 1 5 日 (金) 秋田魁新聞「市町村議会 22 日」より一部抜粋)